

目標

1. 教育者、新渡戸稲造、について知る。
2. 武士道で語られていることと、聖書の教えの共通点について考える。
3. 今回のシリーズ「聖書の真理」という言葉について考える。

祈りと讚美歌 21-311

フォーカス： 話し合う

- ・新渡戸稲造について知ることを分かち合う。
- ・5000円札の肖像になったことについて。
- ・受けた教育。 設立した学校等について。

新渡戸稲造のビデオ鑑賞

- ・札幌農学校クラーク博士との関係。
- ・アメリカに渡る。(裏面参照)
- ・キリスト者は決して争ってはならない。
- ・父を幼くして亡くし、また子を亡くす経験。
- ・「負けるが勝ち」「血を見ない勝利」
- ・武士道を著す。 武人の究極思想は「__」

御言葉との出会い：

- ・マルコ 15:16-39 イエスは兵士たちに__され、__につけられ、そして__を引き取る。
- ・ヨハネ 15:1-17 友のために__こと、これ以上に大きな愛はない。 16: 25-33 あなたがたには__がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に__いる。

話し合う

- ・負けるが勝ちということについてどう思うか？ そのような経験はあるか？
- ・イエスの生涯を思うとき、とくに、十字架の死と復活を思うとき、この負けるが勝ちということわざとつながってくるか？
- ・聖書の真理っていったいなんだろうか？
- ・道徳と宗教教育についてどう感じるか？
- ・キリスト教教育を無しに道徳教育をしようとするとうなるか？ Moralistic Therapeutic Deismという言葉があるが(裏面参照) どう思うか。

まとめ：

- 1.
- 2.
- 3.

ウィキペディアから抜粋

新渡戸稲造

新渡戸はキリスト教徒の多いアメリカの現実（[拝金主義](#)や[人種差別](#)）に衝撃をうけ同時にキリスト者の倫理観の高さに感銘を受けた。新渡戸は近代において人間が陥りやすい拝金主義や唯物主義の根っこにある[個人主義](#)に対して、封建時代の武士は（封建）社会全体への義務を負う存在として己を認識していたことを指摘している。無論これは新渡戸の考えである。同時に新渡戸にとって武士は国際社会において日本人の倫理感の高さ、国民一人一人が社会全体への義務を負うように教育されていると説明するのに最適のモデルであったとするのが今日の一般的な見方である。

Moralistic Therapeutic Deism

Moralistic Therapeutic Deism は Egonovism という言葉でも表現される。

“*The Religious and Spiritual Lives of American Teenagers*” (2005)

by sociologists [Christian Smith](#) and Melinda Lundquist Denton

で使われた。

1. A god exists who created and ordered the world and watches over human life on earth.
2. God wants people to be good, nice, and fair to each other, as taught in the Bible and by most world religions.
3. The central goal of life is to be happy and to feel good about oneself.
4. God does not need to be particularly involved in one's life except when God is needed to resolve a problem.
5. Good people go to [heaven](#) when they die.^[a]

讚美歌 21-311

3

慕わしき主よ、 わが牧者よ、
はかり知られぬ 愛の泉。
迷うこの身を たずねもとめ
導びきましし 日ぞなつかし

4

主よ、 主のもとに 帰る日まで、
十字架のかげに 立たせたまえ。
かくも悩める 主をはなれて
われはいずこに 去り行ゆくべき。

6

死すべき者を あがなう主よ、
十字架の光 見させたまえ。
み傷をあおぎ み手によらば
いまわのときも 安けくあらん。